

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2005 年 2 月 3 日 (03.02.2005)

PCT

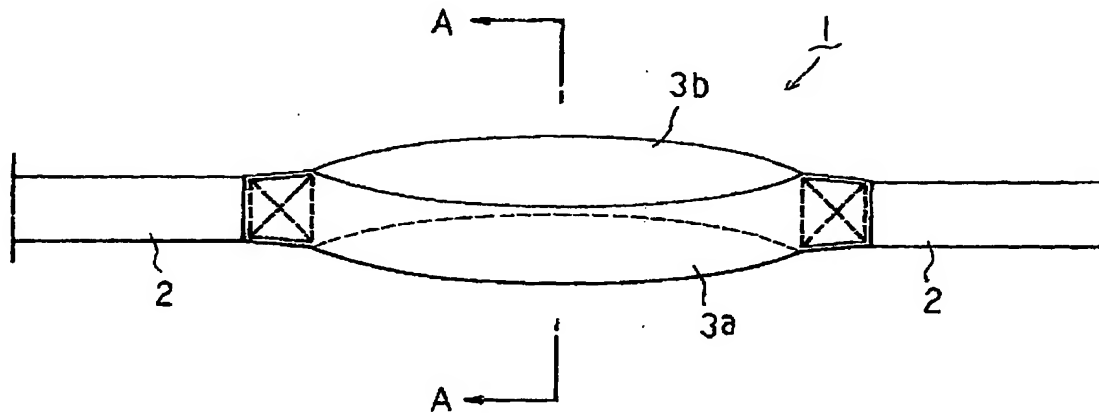
(10) 国際公開番号
WO 2005/009177 A1

- (51) 国際特許分類⁷: A47D 13/02, A45C 13/30 木 4-1 1-1 0 日本エイテックス株式会社内 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/014874
- (22) 国際出願日: 2003 年 11 月 21 日 (21.11.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2003-270268 2003 年 7 月 29 日 (29.07.2003) JP
特願2003-340204 2003 年 9 月 30 日 (30.09.2003) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本エイテックス株式会社 (NIHON EIGHTEX KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒113-0022 東京都文京区千駄木 4-1 1-1 0 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 八木澤 誠 (YAGI-SAWA, Makoto) [JP/JP]; 〒113-0022 東京都文京区千駄
- (74) 代理人: 細井 貞行, 外 (HOSOI, Sadayuki et al.); 〒112-0001 東京都文京区白山 5 丁目 1 4 番 7 号 早川ビル Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) Title: SHOULDER BELT, AND BABY BAND WITH THE SHOULDER BELT

(54) 発明の名称: 肩ベルト及びその肩ベルトを備えた子守帯



(57) Abstract: A shoulder belt diagonally applied from one shoulder toward a waist part on the opposite side thereof. The tip parts of a pair of shoulder belt parts positioned on the front and rear sides of a body are joined to each other through two joining belts formed overlappingly with each other and so that the longitudinal center portion thereof can be displaced in the horizontal direction. The two joining belts formed of a shoulder applied belt portion applied to the upper surface of the shoulder and an upper arm applied belt portion applied to an upper arm outer surface near the tip of the shoulder are applied to the shoulder upper surface and the upper arm outer surface on both sides of the shoulder tip to dispersedly support a load received by the shoulder belt.

(57) 要約: 一方の肩から反対側の腰に向かって襷掛けする肩ベルトは、身体の前側と背中側に位置する一対の肩ベルトパーツの各先端部を、互いに重なり合って長さ方向の中央部分は水平方向にずれるよう設けた二本の連繫ベルトで連繫する。そして、その二本の連繫ベルトは、肩上面に掛かる肩掛止ベルト部分と、肩先近傍の上腕外面に掛かる上腕掛止ベルト部分とし、肩先を挟んで肩上面と上腕外面に掛かり、肩ベルトが受ける荷重を分散支持する。

WO 2005/009177 A1



規則4.17に規定する申立て:

— AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW, ARIPO 特許 (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC,

NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG)の指定のための出願し及び特許を与えられる出願人の資格に関する申立て (規則4.17(ii))

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

肩ベルト及びその肩ベルトを備えた子守帯

5 技術分野

本発明は、子守帯やバッグなどに取り付けられる肩ベルトに係り、特に、斜め掛け（襷掛け）に一方の肩に掛けて使用するものに関する。

背景技術

- 10 従来の、斜め掛けに一方の肩に掛けて使用する肩ベルトは、使用者の肩に当たる部分に、パッドを縫合したり移動可能に挿通して取り付けたものが一般的であった（例えば、特許文献1参照）。

又、肩ベルトとして幅広の布地を用い、その布地を肩上面から上腕外面に亘って掛けるようにしたものもある（例えば、特許文献2参照）。

- 15 [特許文献1] 特開2001-078857号公報
[特許文献2] 実用新案登録第3083231号公報

- ところで、上記した特許文献1に記載の肩ベルトは、肩上面に対する肩ベルトの当たりを緩和することはできても、該肩ベルトが保持する荷重（子守帯であれば乳幼児の体重、バッグであれば内容物重量を含めたバッグ重量）
20 は肩ベルトが掛かる部分に集中的に作用することになる。それにより、使用者に苦痛を与えるという不都合があった。

又、特許文献2に記載の幅広の布からなる肩布紐は、確かに肩上面から肩先を

- 25 跨いで上腕外面に亘って掛かるが、軟らかい布地である為、該肩紐が引っ掛かる位置は肩先部分である。そして、一枚の布地であるため、肩先に掛かった布は肩上面側へ、或いは上腕外面側へ滑り移動し、肩からずれ落ちるといった不具合を有する。更に、荷重の負担についても特許文献1と同様、肩に集中的に掛かって使用者に苦痛を与えるという不具合を有する。

- 30 本発明は上記した従来の技術が有する問題点に鑑みてなされたもので、その目的とするところは集中的に荷重が掛かるのを解消し、苦痛を感じること

なく快適に使用することができる肩ベルトを提供することにある。

又、他の目的は、ずれ落ちたりする事なく安定良く掛けることが出来る肩ベルトを提供することにある。

更に、他の目的は、苦痛を感じることなく快適に使用することができる子
5 守帯を提供することにある。

発明の開示

上記目的を達成する為に本発明が講じた技術的手段は、斜め掛けに一方の肩に掛ける肩ベルトであって、該肩ベルトの途中に、肩先を挟んで肩上面に
10 掛かる肩掛止ベルト部分と、肩先近傍の上腕外面に掛かる上腕掛止ベルト部分を備えた構成を特徴とする。

上記肩ベルトに肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分を設ける方法としては、二本のベルトを用いて構成する。

その具体的構成は、一对の肩ベルトパーツの各先端部を、互いに重なり合
15 って長さ方向の中央部分は水平方向（ベルト幅方向）にずれる（開く）よう設けた二本の連繋ベルトで連繋してなることを特徴とする。

上記連繋ベルトは、外側に湾曲形成すると共に、袋状となし、その内側にパッドを設けたことを特徴とする。

又、二本のベルトを用いて構成する他の形態は、上記肩掛止ベルト部分と、
20 上腕掛止ベルト部分は、一本の肩ベルトパーツの、使用者の肩に掛かる部分に対応位置して、肩ベルトパーツと少なくとも両端部で重なり合って、長さ方向の中央部分では水平方向（ベルト幅方向）にずれる（開く）よう補助ベルトの両端部を前記肩ベルトパーツに縫合して形成したことを特徴とする。
即ち、一本の肩ベルトパーツに、補助ベルトの両端部をバイパス様に縫合し
25 て形成する。

上記肩ベルトに肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分を設ける方法としては、一本のベルトを用いて構成することも可能である。

即ち、1本の肩ベルトにおける肩部分に掛かる当該箇所に、該ベルトの長手方向に沿ってスリット又は開口を形成してベルトの幅方向を二本に分割し
30 て形成する。尚、この場合、肩ベルト全体を一本で構成しても、或いは一对

の肩ベルトパーツの先端部を、前記二分割した肩ベルトに連結して構成してもよい。

上記肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分は、水平方向にずれて（開いて）肩上面及び上腕外面に掛かるが、その開き量は調整自在としてもよい。

5 具体的には、例えば、肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分のベルト幅方向の内側縁をストッパ付きファスナーで連結し、ストッパの位置を変えることでファスナーの開き量を調整する。或いは、肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分のベルト幅方向の内側縁に沿って所定間隔毎に止め具を設け、その止め具の掛け止め位置を変えることで開き量を調整する。

10 そして、上記の肩ベルトはバッグや子守帯等に使用される。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明に係る肩ベルトの実施例1を示す部分平面図、第2図は肩ベルトの部分正面図、第3図は第1図のA-A線拡大断面図、第4図は肩ベルトを適用した子守帯の斜視図、第5図は肩ベルトを左肩に掛けた子守帯の使用状態を示す斜視図、第6図は肩ベルトを右肩に掛けた子守帯の使用状態を示す斜視図、第7図は実施例2の肩ベルトの使用状態を示す斜視図、第8図は肩ベルトの部分平面図、第9図は開き量調整手段の一例を示す同平面図、第10図は開き量調整手段の他の例を示す同平面図である。

20

発明を実施するための最良の形態

次に、本発明を子守帯に適用した好適な実施形態を添付図面の第1図～第6図に基づいて詳細に説明する。

25 第1図～第3図に示すように、肩ベルト1は、一对の肩ベルトパーツ2の各先端部に、使用者の肩先近傍の肩上面に掛ける連繋ベルト（肩掛止ベルト部分）3a両先端と、使用者の肩先近傍の上腕外面に掛ける連繋ベルト（上腕掛止ベルト部分）3b両先端とを重ね合わせ、この各重ね合わせ部分を縫合することによって連繋してなる。

30 第1図～第3図に示すように、各連繋ベルト3a、3bは、平面形状が湾

曲し、かつ、扁平な袋状に形成し、それぞれの内側にはパッド4を挿入してある。また、前記各連繫ベルト3a, 3bは、前記湾曲形状の突部側縁がそれぞれ外縁となるように、かつ、少なくともその中央部分で水平方向に移動しうるように配置し、連繫ベルト3aの両端部を各肩ベルトパーツ2先端の
5 上面側に、また連繫ベルト3b端部を各肩ベルトパーツ2先端の下面側にそれぞれ重ね合わせて、縫合してある。

第4図に示すように、肩ベルト1を適用した子守帯5は、座らせた乳幼児の臀部、腰部、背部が当たる背当て部6と、この背当て部6の下縁部に設け、使用者のウェストに巻いて前記背当て部6の下縁部を使用者に固定するための
10 ウェストベルト7と、前記背当て部6の上縁両端に各基端を縫合すると共に、前記肩ベルト1の両端に離脱可能かつ長さ調節可能に連結するための連結具8aをそれぞれ先端に備えた一对の連結バンド8とからなる。なお、第4図中、符号9はポケット口、符号10は手荷物などを吊り下げるための係止用リングバンド、符号11aは前記ウェストベルト7の両先端に設けた雄
15 係脱具、符号11bは同じく前記雄係脱具11aに係脱する雌係脱具である。

第5図によって、使用者が左肩に肩ベルト1をかけて乳幼児を抱っこする子守帯5の使用方法を説明する。まず、使用者は、肩ベルト1の両先端を、使用時に連結ベルト3aが自身の左肩側になるように、背当て部6の各連結
20 バンド8先端に連結した後に、自身のウェストにウェストベルト7を巻き、肩ベルト1を左肩に掛けてから、乳幼児を背当て部6に寝かせ、連結具8aにより肩ベルト1の長さ調節をして安定させ、肩ベルト1の各連繫ベルト3間に肩先端を割り込ませ、各連繫ベルト3a, 3bを肩先近傍の肩側と上腕側とに掛ける。このようにして乳幼児を抱っこすると、各連繫ベルト3a, 3bが肩と上腕とに掛かっている
25 がなく、また、肩ベルト1がずれ落ちることがない。

第6図によって、使用者が右肩（前記第5図の場合とは逆の肩）に肩ベルト1をかけて乳幼児を抱っこする子守帯5の使用方法を説明する。使用者は、肩ベルト1の両先端を、使用時に連結ベルト3aが自身の右肩側になるように、すなわち、前記左肩に掛ける場合に連結した肩ベルト1の各先端を逆に
30 して、各連結バンド8先端に連結する。以下は、前記第5図の場合とは左右

が逆である点を除いて同様に乳幼児を抱っこする。

尚、本発明は、上記実施形態になんら限定されるものではなく、例えば、また、連繋ベルト 3 a, 3 b の一方を一本の肩ベルトパーツ 2 で兼用し、この肩ベルトパーツ 2 の使用者の肩に掛かる部分に対応位置して、連繋ベルト 3 a, 3 b の他方である補助ベルトの両端を、肩ベルトパーツ 2 に、この肩ベルトパーツ 2 と少なくとも両端部で重なり合って、中央部分では水平方向にずれるように、縫合して構成したものであってよい。

上記した実施例は肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分を二本の連繋ベルト 3 a, 3 b で構成したが、一本のベルトで構成することも可能である。

以下、その構成を図面に基づき説明する。

第 7 図は、肩ベルトの基本構成を示す外観図で、一方の肩から反対側の腰に向かって纏掛けする所定長さの肩ベルト 1 2 の途中に、肩先 S を挟んで肩上面に掛かる肩掛止ベルト部分 1 2 a と、肩先 S 近傍の上腕外面に掛かる上腕掛止ベルト部分 1 2 b が二又に分岐形成されている。

一本のベルトで肩掛止ベルト部分 1 2 a と上腕掛止ベルト部分 1 2 b を形成する具体的構成は、第 8 図に示すように、肩ベルト 1 2 における肩部分に掛止する箇所に、該ベルト幅の略中央位置にスリット又は開口 1 3 を長手方向に沿って所定長さ形成することで、肩ベルト 1 2 における所定範囲を二本に分割形成する。その二本に分割されたベルトの一方が肩掛止ベルト部分 1 2 a であり、もう一方が上腕掛止ベルト部分 1 2 b となる。

そして、この場合は一本のベルトをスリット又は開口 1 3 で二本に分割する為、二分割される部分のベルト幅が他の部分と同じ幅であれば、二分割された部分のベルト幅は半分の幅となる。従って、二分割して形成される肩掛止ベルト部分 1 2 a と上腕掛止ベルト部分 1 2 b のベルト幅をそれぞれ他の部分のベルト幅と略同じ幅とする場合は、予め当該部分のベルト幅を広く確保して裁断する。

又、ベルトの長手方向に沿って形成するスリット又は開口 1 3 の長さは、該スリット又は開口 1 3 で二分割されるベルトが開いて、ベルトの一方（肩掛止ベルト部分 1 2 a）が肩上面に、他方（上腕掛止ベルト部分 1 2 b）が上腕外面に確実に掛止する長さとする。

尚、使用者の体型は異なる為、前記したスリット又は開口 1 3 で二分割される開き量が一定である場合、体型によっては開き量が小さく肩上面と上腕外面にしっかり掛止できない、或いは体型によっては開き量が大きく肩上面と上腕外面に対する掛止位置がずれ、その結果、しっかり掛止できないということが生じる。こうしたことに対応する為に、スリット又は開口 1 3 で二分割されるベルト相互の開き量を広狭調整自在としてもよい。

その調整手段としては、第 9 図に示すように肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分のベルト幅方向の内側縁をストッパ付きファスナー 1 4 で連結し、ストッパの位置を変えることでファスナーの開き量を調整する。

又、第 10 図に示すように、肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分のベルト幅方向の内側縁に沿って所定間隔毎に釦 1 5 a と止め輪 1 5 b とを対向配置した止め具 1 5 を設け、その釦 1 5 a に対する止め輪 1 5 b の掛け止め位置を変えることで開き量を調整する。尚、この開き量を調整自在とする場合は、予めスリット又は開口によって開き量を最大に形成し、それを使用者各人が上記した調整手段によって最適な量に調整するようにする。

上記した一本のベルトにスリット又は開口 1 3 を施して肩掛止ベルト部分と上腕掛止ベルト部分を分岐形成した肩ベルトは、その両端に前示実施例で示したと同様の肩ベルトパーツを連結してもよい。勿論、肩ベルト部分と肩ベルトパーツを一本のベルトで構成してもよいことは言うまでもない。

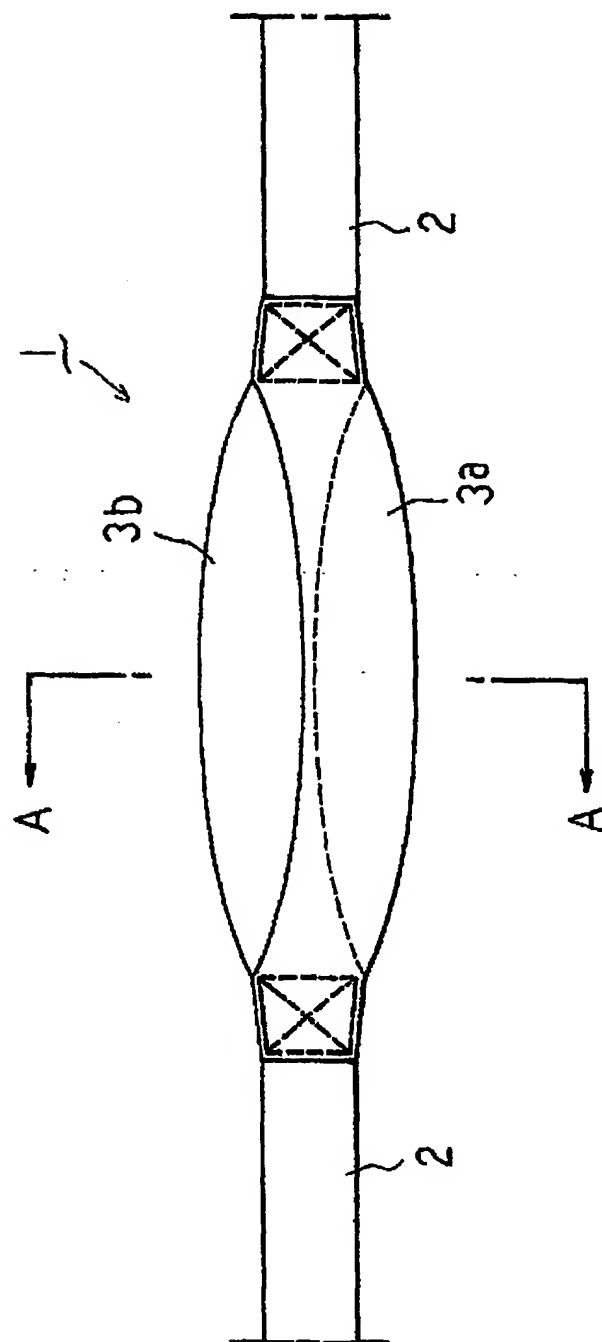
産業上の利用可能性

本発明に係る肩ベルトは、肩ベルト 1 を斜め掛けに一方の肩に掛けて支持するものであれば、子守帯に限らず、バッグなどにも有効に使用できるものである。

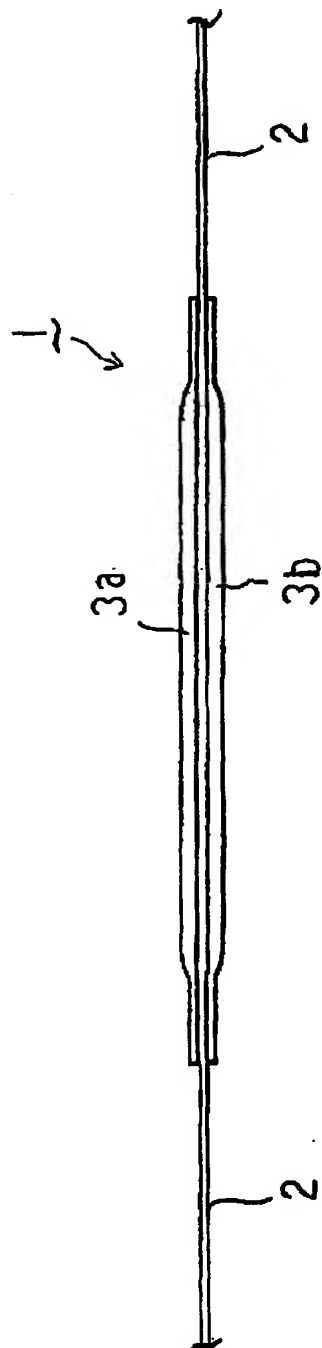
請 求 の 範 囲

1. 斜め掛けに一方の肩に掛ける肩ベルトであって、該肩ベルトの途中に、肩先を挟んで肩上面に掛かる肩掛止ベルト部分と、肩先近傍の上腕外面に掛かる上腕掛止ベルト部分を備えていることを特徴とする肩ベルト。
- 5 2. 上記肩掛止ベルト部分と、上腕掛止ベルト部分は、一对の肩ベルトパーツの各先端部を、互いに重なり合って長さ方向の中央部分は水平方向にずれるよう設けた二本の連繫ベルトで連繫してなることを特徴とする請求の範囲第1項記載の肩ベルト。
3. 上記連繫ベルトは、外側に湾曲形成すると共に、袋状となし、その内
10 側にパッドを設けたことを特徴とする請求の範囲第2項記載の肩ベルト。
4. 上記肩掛止ベルト部分と、上腕掛止ベルト部分は、一本の肩ベルトパーツの、使用者の肩に掛かる部分に対応位置して、肩ベルトパーツと少なくとも両端部で重なり合って、長さ方向の中央部分ではベルト幅方向に開くよう補助ベルトの両端部を前記肩ベルトパーツに縫合して形成したことを特徴
15 とする請求の範囲第1項記載の肩ベルト。
5. 上記肩掛止ベルト部分と、上腕掛止ベルト部分は、ベルトの当該箇所
に、該ベルトの長手方向に沿ってスリット又は開口を形成して、ベルトの幅
方向を二本に分割して形成したことを特徴とする請求の範囲第1項記載の肩
ベルト。
- 20 6. 上記肩掛止ベルト部分と、上腕掛止ベルト部分の開き量は調整自在と
したことを特徴とする請求の範囲第5項記載の肩ベルト。
7. 上記請求の範囲第1項乃至第6項の何れか1項記載の肩ベルトを取り
付けた子守帯。

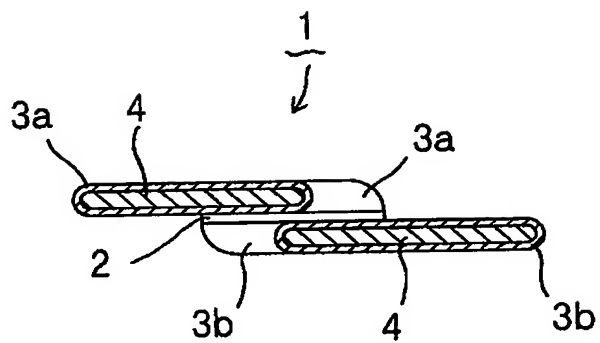
第 1 図



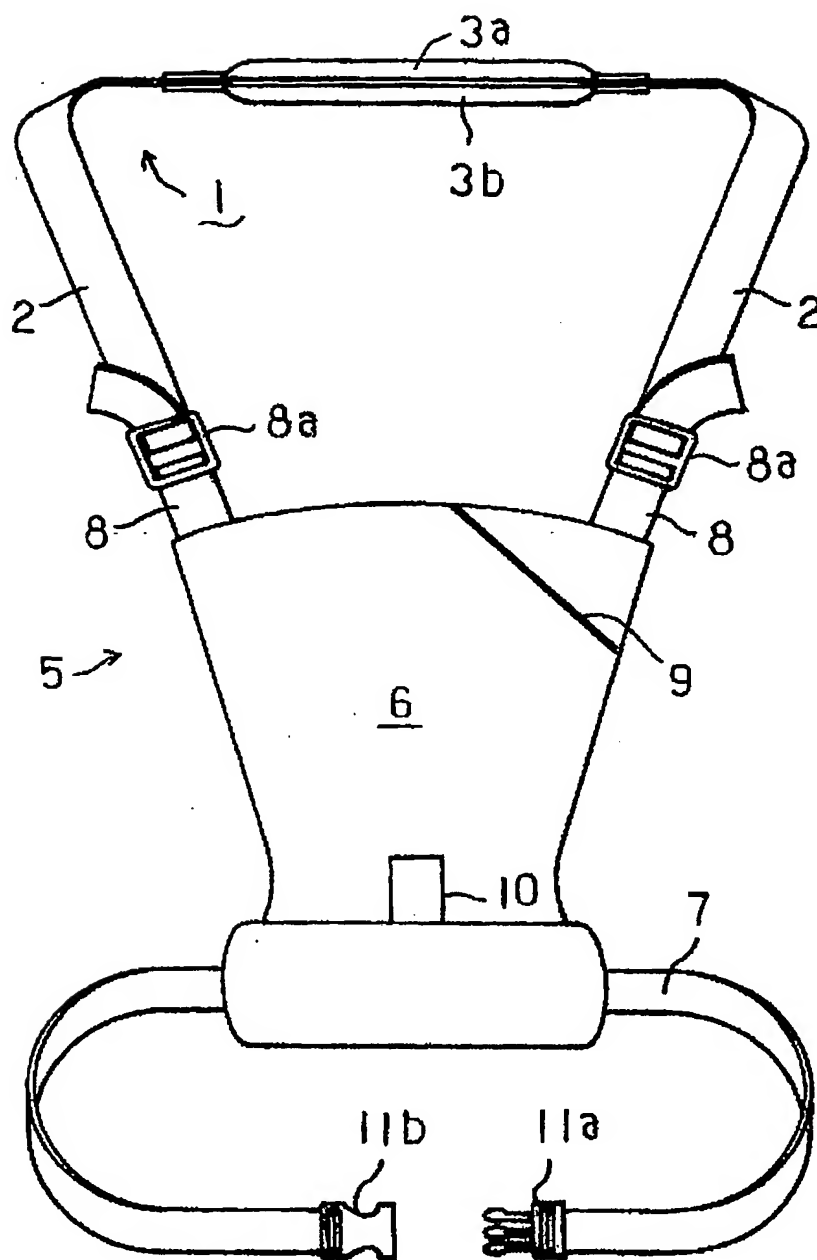
第 2 図



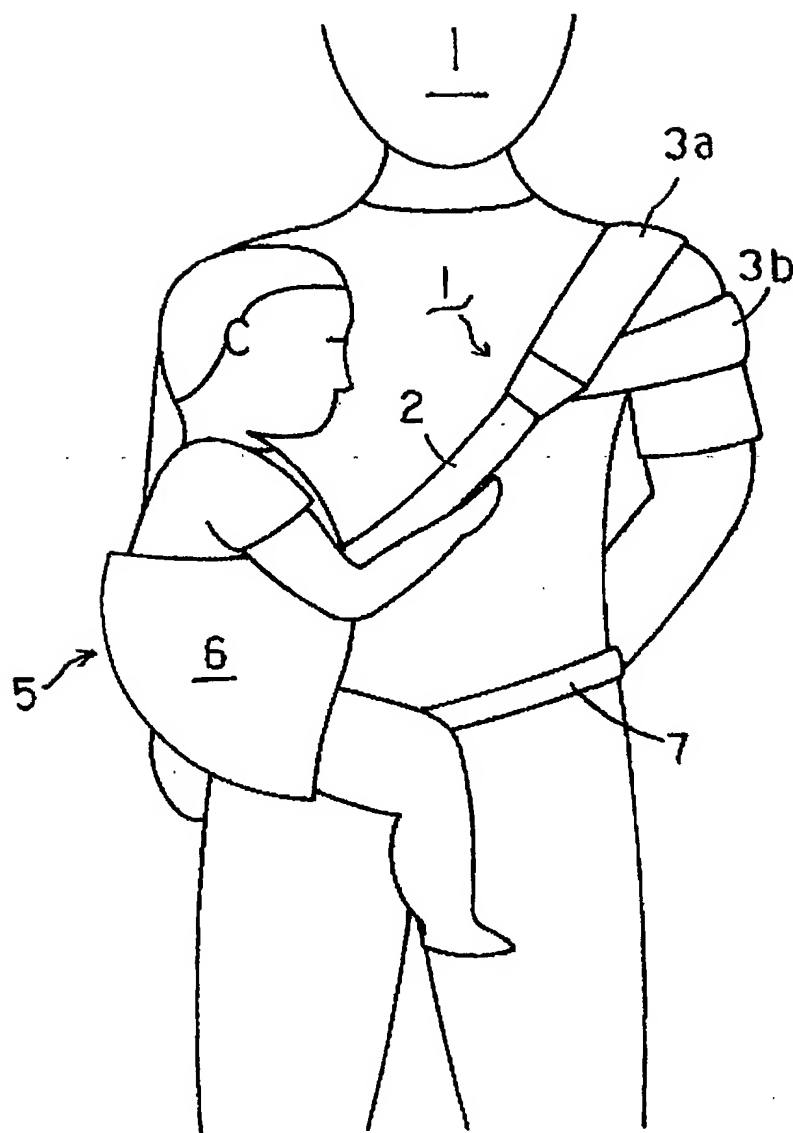
第 3 図



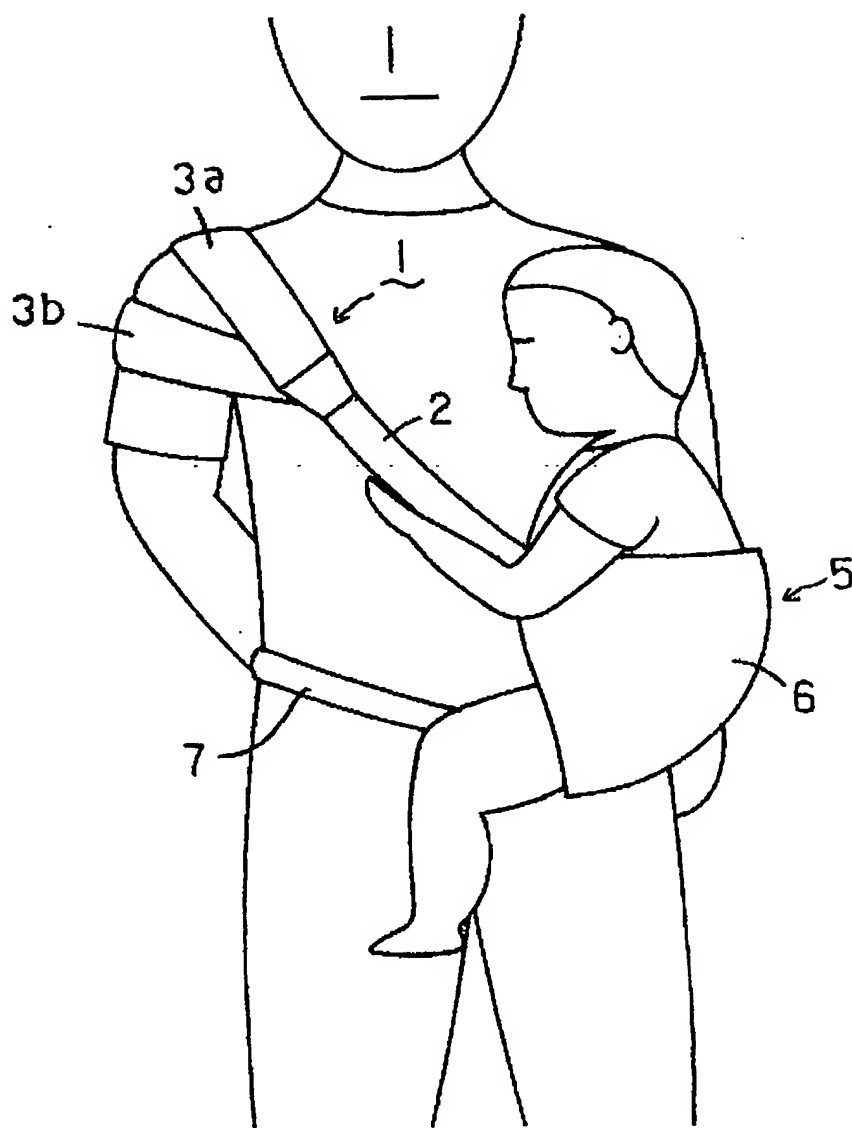
第 4 図



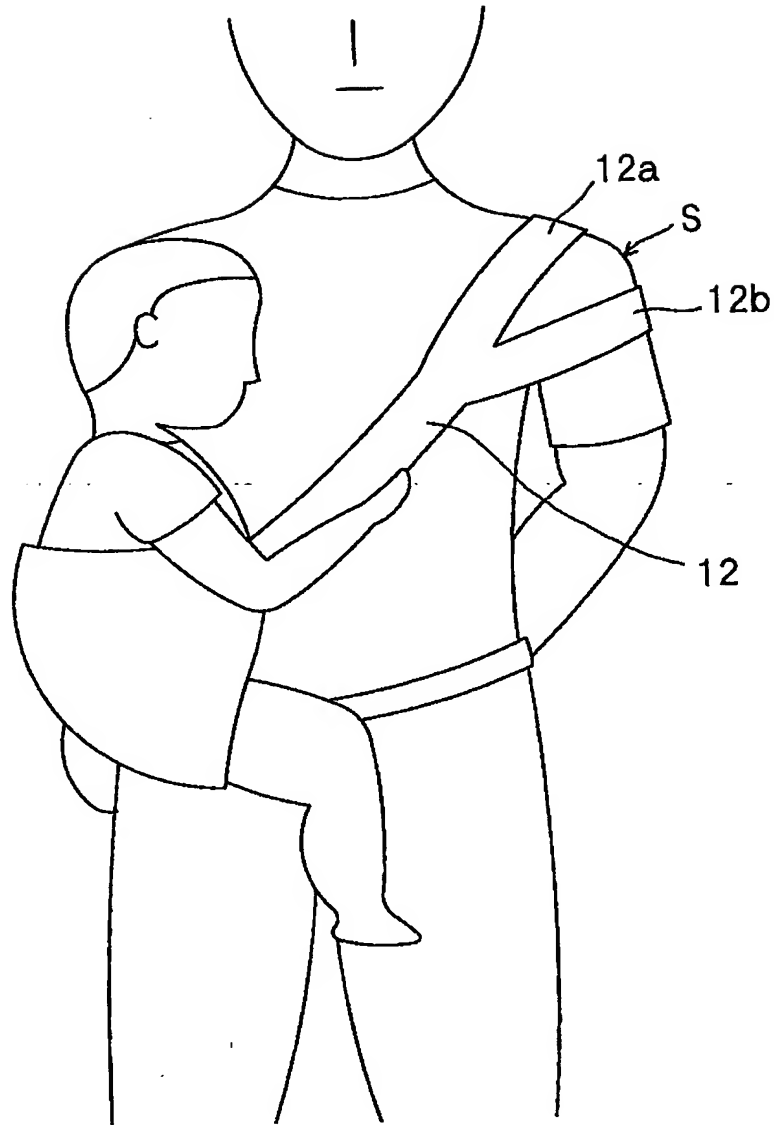
第 5 図



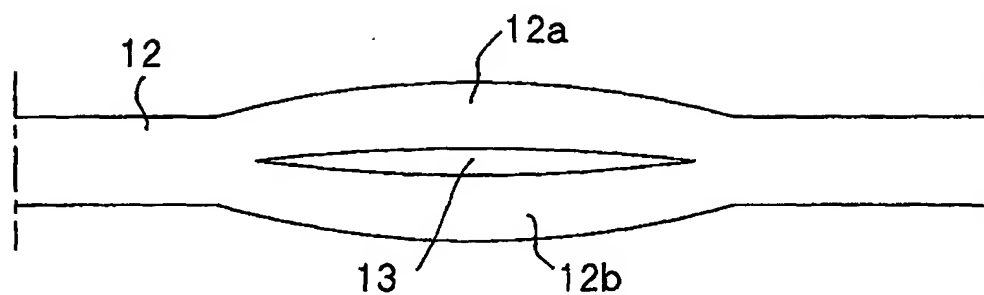
第 6 図



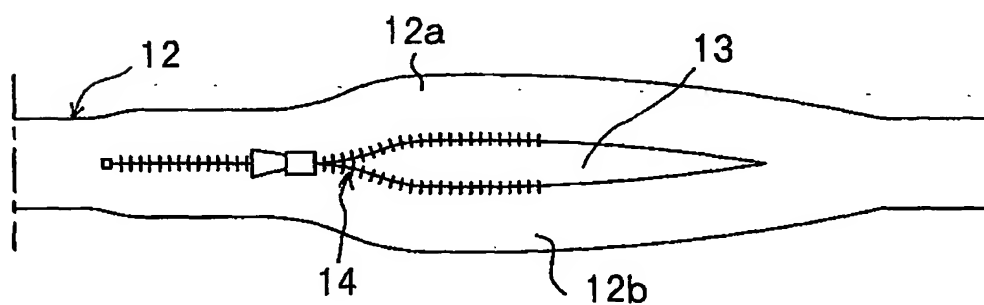
第 7 図



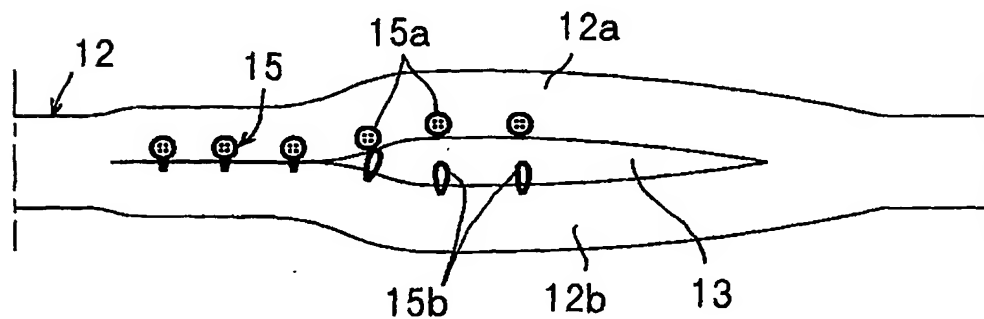
第 8 図



第 9 図



第 10 図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/14874

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl ⁷ A47D13/02, A45C13/30		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) Int.Cl ⁷ A47D13/02, A45C13/30		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1926-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2004 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2004 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2004		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y A	US 2002/0008125 A1 (Gaiocarolo Caputi), 24 January, 2002 (24.01.02), Full text; Figs. 2, 55 (Family: none)	1, 2, 4 3, 7 5, 6
X A	JP 3075782 U (Suketugu TANIGAWA), 06 March, 2001 (06.03.01), Full text; all drawings (Family: none)	1, 2, 4 3, 5-7
Y	JP 3070132 U (Shumei CHIN), 18 July, 2000 (18.07.00), Full text; all drawings (Family: none)	3
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
Date of the actual completion of the international search 27 February, 2004 (27.02.04)		Date of mailing of the international search report 16 March, 2004 (16.03.04)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer
Facsimile No.		Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/14874

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 3083231 U (Rie FUJIMAKI), 25 January, 2002 (25.01.02), Full text; all drawings (Family: none)	7

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A47D13/02, A45C13/30

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A47D13/02, A45C13/30

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1926-1996年
 日本国公開実用新案公報 1971-2004年
 日本国登録実用新案公報 1994-2004年
 日本国実用新案登録公報 1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y A	US 2002/0008125 A1 (Gaincarlo Ca puti) 2002. 01. 24, 全文, 第2および55図 (ファ ミリーなし)	1, 2, 4 3, 7 5, 6
X A	JP 3075782 U (谷川 助次) 2001. 03. 06, 全 文, 全図 (ファミリーなし)	1, 2, 4 3, 5-7
Y	JP 3070132 U (陳 秋明) 2000. 07. 18, 全 文, 全図 (ファミリーなし)	3

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

27. 02. 2004

国際調査報告の発送日

16. 3. 2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)
 郵便番号100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

大山 広人

3R

3026

電話番号 03-3581-1101 内線 3384

C (続き) 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 3083231 U (藤巻 理絵) 2002.01.25, 全文, 全図 (ファミリーなし)	7